

四日市市立水沢小学校

学校だより



令和6年11月27日 第39号



6年生が修学旅行に行ってきました。

11月21日(木)、22日(金)の2日間、6年生は京都方面へ1泊2日の修学旅行に行ってきました。2日間とも秋晴れて天候も良く、金閣寺⇒大徳寺・大仙院(座禅体験)⇒旅館『三木半』(昼食 お弁当)⇒三十三間堂⇒二年坂・三年坂(散策・買い物)⇒旅館『元奈古』(宿泊)⇒清水寺⇒龍安寺⇒二条城⇒旅館『和泉屋』(昼食)⇒下鴨神社⇒銀閣寺の順で、予定通り訪問することができました。

今回は、その一部を紹介したいと思います(裏面に続きます)。

<出発式>

バスの車内で出発式を行いました。代表からは「ルールやマナーを守って、なかまとの楽しい修学旅行にしましょう」とあいさつがあり、私からは「時間を守ること」「全員が体調を崩すことなく健康で元気に学校へ戻って来ること」の2つを話しました。

<金閣寺(1番目)>

建物の内外に金箔が貼られていることから通称「金閣寺」と呼ばれ、正式名称は「鹿苑寺(ろくおんじ)」です。室町幕府三代将軍の足利義満によって建てられたといわれています。当日は、朝早かったためか、混雑しておらず、ゆっくりと立ち止まって見ることができました。全面金箔貼りの金閣寺が太陽の光で輝いて、本当にきれいでした。

<大徳寺・大仙院(座禅体験)(2番目)>

大徳寺・大仙院では、最初に抹茶体験をしました。初めに「千瓢(せんびょう)」というおかしをいただきました。親指程度の大きさで適度に甘く、くどくないおかしです。作法として、茶碗を時計回りに2回回り、3~4回に分けて抹茶をいただきます。抹茶を初めて飲む子もいて、「にがい」と顔をしかめている子もいました。その後、座禅体験をしました。向かい合わせに座って靴下を脱ぎ、あぐらをかいて両手を少し開いてお腹の前でゆびを合わせます。そして背筋をまっすぐにして姿勢を取りました。姿勢が崩れると和尚(おしょう)さんから木の棒で「ピシャン」とたたかれます。和尚さんの足がとまり、たたかれる時には胸の前で両手を合わせて合掌をし、全身を低くして背中をたたいてもらいます。自分から両手を合わせて合掌をし、肩をたたかれている子もいました(学級の2分の1ぐらいの子が肩をたたかれていたようです)。最後は静寂(せいじゃく)な時間が流れていました。約30分間でしたが普通の学校生活ではなかなかできない、いい体験をさせていただきました。

座禅体験の後は、和尚さんから訓話をいただきました。「学ぶ(勉強する)ことの大切さ」「ひとにやさしく穏やかに接することの大切さ」「学校でなかまと過ごすことの大切さ」等について教えていただきました。また、座禅体験の前に『今こそ出発点』という文章を和尚さんの読み上げに続いてみんなで声を出して読みました(後に記述)。

<三十三間堂(3番目)>

旅館『三木半』で昼食(お弁当)をいただき、その後見学地向かいました。三十三間堂の堂内には、千体の千手観音像が祀られていて、子どもたちは仏像の数に圧倒されていました。正面の柱の間が33あることから三十三間堂と呼ばれているそうです。実際の堂の長さは約120mあり、堂の南北を射通す「通し矢」という競技が行われ、江戸の名所としてにぎわっていたようです。敷地は、すごくきれいな庭園で、学級写真の撮影を行いました。

<二年坂・三年坂(お土産・)>

旅館『元奈古』に荷物を置いて、徒歩で清水門前へと向かいました。二年坂は、約150mの坂道です。二年坂の南端、階段を上った先にある約100mの坂道が三年坂とよばれています。坂道には、古きよき日本の街並みが続いていて、坂を上っていくと清水寺のメイン参道となる清水坂へと通じています。二年坂・三年坂は、多くの観光客、修学旅行生で賑わっていて、散策中、途中ではぐれないかと心配しましたが、集合時刻5分前には旅館前に集合することができました。通りにはたくさんのお土産店が並んでいて、お土産に目移りしてしまっている子もいたようでした。

<旅館「元奈古」(宿泊)>

道路の渋滞もなく、スムーズに1日目の行程を終えることができました。入館式では、宿泊所代表者からのお話を聞き、その後各部屋へと入りました。夕食は「とんかつ、マグロの刺身、そば、湯豆腐、漬物、白米、生野菜、パイナップルもしくはオレンジ」の豪華な料理で、みんな顔をほころばせて食べていました。旅館の従業員の方に、お部屋に食



事を配膳していただきました。みんなで楽しく会話をしながら、食事をいただきました。茶碗に何杯もごはんのおかわりをした子がいたようです。夕食後は順番に入浴をし、部屋で自由時間を過ごし、21時半頃に消灯、就寝をしました。

2日目は、5時45分に起床して身支度を済ませ、清水寺へと向かいました。みんなと夜、一緒に寝ることに慣れていないので、なかなか寝付けなかった子もいたようでした。清水寺を見学してから、旅館に戻り、朝食をいただきました。なかまと一緒に食べる夕食や朝食、各部屋での時間は、本当に楽しく充実した時間となったようでした。

<清水寺（4番目）>

清水寺には旅館から歩いて向かいました。早朝であったためか、観光客も少なく、ゆったりと境内からの景色を楽しむことができました。清水寺本堂からの眺めは最高で、よくテレビ画面に出てくる光景が、そのまま目の前に広がっているようでした。音羽の滝では、手を伸ばしてひしゃくで水をすくい、手を洗いました。清水寺の寺名の由来となった清水の湧き出す滝で、3本の笕（かけい）に分かれていて、「延命長寿」「恋愛成就」「学業成就」のご利益があるとされています。早朝の暗いうちから京都の街並みを歩いたことも、きつといい思い出になったことと思います。

<龍安寺（5番目）>

龍安寺は、白砂の波紋で波の重なりを表す枯山水庭園の特徴を有する「龍安寺の石庭」が有名です。この石庭は、まばらに15個の石が配置されていますが、どの位置から眺めても必ずどこかの1つの石が見えないように配置されています。「山水河原者（せんずいかわらもの）」といわれる被差別民によって造られたという説もあります。石の数を「1つ、2つ、……」と数えている子どもたちもいました。

<二条城（6番目）>

正式名称は「元離宮二条城」といい、徳川家の栄枯盛衰と日本の歴史の移り変わりを見守ってきたお城で、二の丸御殿で徳川将軍が「大政奉還」の意思を表明したことで有名です。ユネスコ世界遺産にも登録され、貴重な歴史遺産となっています。建物の中を歩いている時に「きゅっきゅ」とウグイス張りの音がして、江戸時代の人たちの暮らしの工夫が感じられました（長い年月が経ち、金具が緩んだことが原因との説もあり）。二条城では、建物をバックに集合写真を撮りました。

<下鴨神社（7番目）>

旅館『和泉屋旅館』で昼食（カレーライス、野菜サラダ）をいただき、午後からの見学地に向かいました。京都にある世界文化遺産の1つで、「水みくじ（水に紙をつけると字が浮き上がってくる）」や「みたらし団子」の発祥の地としても有名です。京都の最強神社として、テレビ番組の「博士ちゃん」でも紹介された神社でした。縁結びの神様のところでは、みんなでお詣りをしました。水沢地区には足見田神社があり、しっかりとお詣りの作法ができていました。

<銀閣寺（8番目）>

銀閣寺は、正しくは東山慈照寺（とうざんじしょうじ）と言い、室町幕府八代将軍の足利義政によって建てられたといわれています。江戸時代になってから、金閣寺に対し、銀閣寺と称せられることになったそうです。境内庭園は、白砂の向月台（こうげつだい）、多くの草木や山水があり、コントラストがとてもきれいでした。子どもたちは、立ち止まって写真を撮ったり、移動して景色を眺めたりしていました。

<解散式>

バスの車内で解散式を行いました。『欠席者もなく、全員が健康で無事に帰ってくることができたこと』が何よりもよかったと思います。修学旅行の2日間を通し、なかまと寝食を共にし、一緒に行動することで、お互いの絆が深まったのではないかと思います。この2日間のことを、いい思い出として大切にしてください。

保護者の皆様、子どもたちの送迎へのご協力、本当にありがとうございました。心から感謝いたします。

『今こそ出発点』 修学旅行で和尚さんといっしょに唱えた言葉

人生とは毎日が訓練である	わたくし自身の訓練の場である	失敗もできる訓練の場である
生きているを喜ぶ訓練の場である	今この幸せを喜ぶこともなく	いつどこで幸せになれるか
この喜びをもとに全力で進めよう	わたくし自身の将来は	今この瞬間ここにある
今ここで頑張らずにいつ頑張る		(京都大仙院 尾関 宋園)

(文責 北住 昌文)

